

平成 27 年度  
決算説明資料

消 防 局

## 目 次

	頁
1 消防力の整備指針の充足状況について.....	1
(1) 平成26年度.....	1
(2) 平成27年度.....	1
2 職員の精神疾患による健康管理区分等について.....	2
(1) 管理区分.....	2
(2) 主な対策.....	2
3 平成27年度の消防職員委員会の審議結果等について.....	2
(1) 意見提出件数.....	2
(2) 審議結果.....	3
(3) 「実施することが適当である」とされたが未実施の意見に対する 処置状況.....	3
4 消防団について.....	4
(1) 消防団員の充足状況.....	4
(2) 消防団員の報酬等.....	5
(3) 活動状況.....	6
5 自主防災組織について.....	7
6 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣について.....	8
(1) 家具の固定実施率.....	8
(2) 経費の内訳.....	8
(3) 養成講座.....	9
(4) 派遣.....	9

7	査察実施状況等について.....	10
	(1) 査察実施状況.....	10
	(2) 主な不備指摘状況.....	11
	(3) 不備指摘後の主な指導方法.....	11
	(4) 平成27年度査察未実施の対象物に対する啓発等.....	11
8	住宅用火災警報器の設置率等について.....	12
	(1) 設置率.....	12
	(2) 設置促進の実施状況.....	12
9	消防隊の編成状況について.....	13
10	消防隊及び救急隊の活動状況について.....	14
	(1) 消防隊の出動等の状況.....	14
	(2) 救急隊の出動状況.....	14
	(3) 市民要望への対応.....	14
11	救命講習等について.....	15
	(1) 内容及び実施状況.....	15
	(2) 小・中学生及び高校生の受講状況.....	16
12	AEDの設置状況について.....	17
13	ヘリコプターの出動状況等について.....	18
	(1) 出動回数.....	18
	(2) 整備日数.....	18

# 1 消防力の整備指針の充足状況について

## (1) 平成26年度

平成26.4.1現在

区 分		基 準	現 有	充 足 率 (%)
施設	署 所	66	65	98.5
	車 両 等	286	269	94.1
人員	消防職員の総数	2,501	2,294	91.7
	警 防 要 員	1,970	1,809	91.8
	予 防 要 員	294	248	84.4
	庶務等の要員	237	237	—

## (2) 平成27年度

平成27.4.1現在

区 分		基 準	現 有	充 足 率 (%)
施設	署 所	66	65	98.5
	車 両 等	287	279	97.2
人員	消防職員の総数	2,478	2,259	91.2
	警 防 要 員	1,980	1,818	91.8
	予 防 要 員	304	247	81.3
	庶務等の要員	194	194	—

注 基準は、毎年度4月1日現在における人口、防火対象物数等を確認し、見直しを行うものである。

## 2 職員の精神疾患による健康管理区分等について

### (1) 管理区分

平成28.3.31現在

区 分	人 数
要 休 養 者	4
養 護 者	5
要 観 察 者	7
合 計	16

注1 要休養者とは、診療を必要とし、かつ、勤務をさせない必要があるものをいう。

2 養護者とは、診療又は経過観察を必要とし、かつ、正規の勤務時間の軽減を含む勤務制限を必要とするものをいう。

3 要観察者とは、診療又は経過観察を必要とするが、勤務はほぼ平常に行ってもよいものをいう。

### (2) 主な対策

- ・ 保健師への相談体制の確保
- ・ メンタルヘルス教育研修の実施
- ・ 惨事ストレスケアの実施

## 3 平成27年度の消防職員委員会の審議結果等について

### (1) 意見提出件数

区 分	件 数
消防職員の勤務条件及び厚生福利	16
消防職員の職務遂行上必要な被服及び装備品	5
消防の用に供する設備、機械器具その他の施設	5
合 計	26

(2) 審議結果

区 分	件 数	主 な 意 見
実施することが適当である	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被服の仕様変更の予告について</li> <li>・ 自家用車で非常参集し民間駐車場を利用した場合の使用料の支払いについて</li> </ul>
将来的な課題である	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不要になった制服等の回収について</li> <li>・ 大型自動車免許等の取得に係る支援制度の拡充について</li> </ul>
実施は困難である	0	—
現行どおりでよい	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短靴等のサイズの追加について</li> <li>・ はしご車技術指導者等を再任用職員の毎日勤務職員として配置することについて</li> </ul>
過半数に満たず	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制服等のズボンの仕様変更について（ウエスト部分へのアジャスター取り付け）</li> <li>・ 救急車への接近警告装置等の取り付けについて</li> </ul>

(3) 「実施することが適当である」とされたが未実施の意見に対する処置状況

意 見 の 概 要	処 置 状 況
違反処理業務は、消防関係法令等の専門的知識及び豊富な経験を必要とし、また、関係者との折衝等においては精神的な負担も大きい業務である。困難性を伴う業務として、特殊勤務手当を設けるべきである。	違反処理業務に係る特殊勤務手当の新設に向け、関係局との協議を実施。

#### 4 消防団について

##### (1) 消防団員の充足状況

区分	定員 (人)	平成26年度		平成27年度	
		実員 (人)	充足率 (%)	実員 (人)	充足率 (%)
千種	375	325 (22)	86.7	315 (31)	84.0
東	225	211 (16)	93.8	206 (16)	91.6
北	475	434 (33)	91.4	416 (38)	87.6
西	475	391 (0)	82.3	386 (3)	81.3
中村	450	390 (18)	86.7	383 (21)	85.1
中	275	237 (23)	86.2	227 (20)	82.5
昭和	275	224 (9)	81.5	225 (13)	81.8
瑞穂	275	236 (16)	85.8	227 (15)	82.5
熱田	175	153 (15)	87.4	149 (16)	85.1
中川	625	552 (9)	88.3	517 (11)	82.7
港	670	595 (5)	88.8	554 (6)	82.7
南	450	407 (16)	90.4	406 (22)	90.2
守山	475	430 (29)	90.5	416 (33)	87.6
緑	700	612 (4)	87.4	552 (6)	78.9
名東	475	408 (14)	85.9	397 (22)	83.6
天白	425	393 (6)	92.5	386 (9)	90.8
全市	6,820	5,998 (235)	87.9	5,762 (282)	84.5

注1 各年度とも4月1日現在の数値である。

2 実員欄の( )内の数値は、70歳以上の消防団員数を内数で示す。

(2) 消防団員の報酬等

ア 階級別報酬額

区 分	年 額 (円)
団 長	37,500
副 団 長	34,500
部 長	31,500
班 長	28,500
団 員	25,500

イ 出場手当

区 分	活 動 内 容	単 価 (円)	
		平成26年度	平成27年度
災害対応	火災、救助、警戒及び救急出動	1,000	3時間以上 7,000 3時間未満 3,500
非常配備	災 害 待 機 (第3・第4非常配備)	1,000	7,000
	災 害 待 機 (第1・第2非常配備)	1,000	1,000
警戒警備	災害対応以外の警戒活動	1,000	1,000
訓練指導	自主防災訓練等	1,000	3,500
教養訓練	団 員 教 養 等	1,000	1,000
火災予防	火災予防運動広報等	1,000	—
その他	各種会議、器具手入等	1,000	—



(3) 活動状況

ア 出場実績

平成27年度

区 分	延べ消防団員数 (人)
災害対応	5,281
非常配備	124
警戒警備	21,546
訓練指導	15,532
教養訓練	35,092
火災予防	57,738
地域活動	11,783
その他	60,782
合計	207,878

イ 「地域活動」の主な内容

- ・ 学区連絡協議会
- ・ 学区定例会
- ・ 祭り
- ・ 運動会
- ・ 盆踊り
- ・ 敬老会
- ・ 餅つき大会
- ・ 成人式
- ・ 防犯パトロール
- ・ 交通安全
- ・ クリーンキャンペーン

5 自主防災組織について

平成27年度

区 分	自主防災 組 織 数 (組織)	訓練実施 組 織 数 (組織)	実 施 率 (%)	訓 練 実 施 回 数
千 種	326	172	52.8	111 (17)
東	175	115	65.7	22 (5)
北	378	376	99.5	76 (24)
西	417	403	96.6	52 (5)
中 村	285	285	100.0	99 (10)
中	152	138	90.8	94 (1)
昭 和	246	230	93.5	181 (16)
瑞 穂	244	242	99.2	120 (37)
熱 田	151	151	100.0	78 (26)
中 川	448	423	94.4	103 (14)
港	262	201	76.7	134 (42)
南	341	341	100.0	164 (40)
守 山	387	387	100.0	83 (8)
緑	424	285	67.2	95 (10)
名 東	200	187	93.5	113 (23)
天 白	250	226	90.4	132 (7)
合 計	4,686	4,162	88.8	1,657 (285)

注 訓練実施回数欄の( )内の数値は、自主防災組織単独で訓練を実施した回数を内数で示す。

6 家具の固定ができるボランティアの養成及び派遣について

(1) 家具の固定実施率

平成 2 6 年 度 (%)	平成 2 7 年 度 (%)
45.2	50.4

(2) 経費の内訳

平成27年度

区 分	決 算 額 (円)
講師及びボランティアへの謝金	685,500
家具固定用資器材の整備	1,107,416
ボランティア募集用チラシ作製	14,461
合 計	1,807,377

(3) 養成講座

平成27年度

区 分	受 講 者 数
港	13
緑	17
合 計	30

(4) 派遣

平成27年度

区 分	取 付 実 績 (軒)
昭 和	9
港	3
守 山	61
緑	14
合 計	87

## 7 査察実施状況等について

### (1) 査察実施状況

#### ア 平成26年度

区 分	対 象 物 数	立 入 検 査 実 施 対 象 物 数	実 施 率 (%)
特定用途防火対象物	15,593	7,791	50.0
避難困難者 入所施設	849	794	93.5
非特定用途防火対象物	30,120	6,284	20.9
合 計	45,713	14,075	30.8

#### イ 平成27年度

区 分	対 象 物 数	立 入 検 査 実 施 対 象 物 数	実 施 率 (%)
特定用途防火対象物	15,846	7,347	46.4
避難困難者 入所施設	862	631	73.2
非特定用途防火対象物	30,320	5,422	17.9
合 計	46,166	12,769	27.7

注1 特定用途防火対象物とは、百貨店、ホテル等の主として不特定多数の者が出入りする防火対象物をいう。

2 避難困難者入所施設とは、特別養護老人ホーム等の主として自力避難が困難な要介護者等が入所する社会福祉施設をいう。

(2) 主な不備指摘状況

平成27年度

区 分	指摘した対象物数
防火管理業務の履行に関する不備	1,312
消防用設備等の点検に関する不備	1,289
防火管理者の選任に関する不備	1,094

(3) 不備指摘後の主な指導方法

区 分	内 容
文 書	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不備指摘事項に係る改善計画文書の提出を要請</li><li>・ 改善指導文書（指導書）の交付</li></ul>
面 会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現地出向による是正指導</li><li>・ 来署を要請し消防署において是正指導</li></ul>
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電話連絡による是正指導等</li></ul>

(4) 平成27年度査察未実施の対象物に対する啓発等

内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 消防署での面会による指導</li><li>・ 電話等による指導</li></ul>
対 象	防火管理者等
実施回数	803回

## 8 住宅用火災警報器の設置率等について

### (1) 設置率

平成 2 6 年 度 (%)	平成 2 7 年 度 (%)
86.1	82.9

注 設置率とは、火災予防条例で住戸内に設置が義務付けられている場所に1箇所以上設置されている世帯の割合である。

### (2) 設置促進の実施状況

平成 2 7 年 度

区 分	主 な 内 容
戸 別 訪 問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者世帯等の防火・防災指導</li> <li>・ 防火・防災診断</li> </ul>
普 及 啓 発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防火・防災講習会等</li> <li>・ 春・秋の火災予防運動、イベント等</li> <li>・ ポスター</li> <li>・ リーフレット等</li> <li>・ ラジオ放送</li> <li>・ 名古屋市公式ウェブサイトへの掲載</li> </ul>

9 消防隊の編成状況について

区 分	出 動 実 績	
	平成26年度 (回)	平成27年度 (回)
5 人 出 動	9,927 (70.0%)	9,917 (70.2%)
4 人 出 動	4,258 (30.0%)	4,209 (29.8%)
合 計	14,185	14,126

注 出動実績欄の( )内の数値は、合計に対する割合を示す。



## 10 消防隊及び救急隊の活動状況について

### (1) 消防隊の出動等の状況

区 分	平成26年度 (件)	平成27年度 (件)
火 災	639	568
救 助	675	759
救 急	7,002	6,827
そ の 他	2,289	2,234
合 計	10,605	10,388

注 その他とは、誤報、虚報、警戒（危険物の流出及びガスの漏えい等の災害発生の危険が予想される事案に対する危険排除のための出動）及び結果的に火災に至らなかった焼損事故への出動を示す。

### (2) 救急隊の出動状況

区 分	平成26年度 (件)	平成27年度 (件)
救 急	118,903	120,232

### (3) 市民要望への対応

- ・ 職場体験
- ・ 近隣保育園児などの見学
- ・ 指輪の切断
- ・ 道案内

## 11 救命講習等について

### (1) 内容及び実施状況

区 分	内 容	平成26年度		平成27年度	
		実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
救命入門 コース	・心肺蘇生法 ・AED使用法	166	2,640	150	2,392
普通救命 講 習	・心肺蘇生法 ・AED使用法 ・止血法 ・異物除去法 等	1,087	17,181	1,043	16,976
上級救命 講 習	・心肺蘇生法 ・AED使用法 ・止血法 ・異物除去法 ・外傷手当要領 ・搬送法 ・傷病者管理法 等	46	915	44	1,008
応急手当 普及 講 習	・心肺蘇生法 ・AED使用法 ・止血法 ・異物除去法 ・外傷手当要領 ・搬送法 ・傷病者管理法 ・講習の指導要領 等	12	396	12	455
応急手当 指 導 講 習	・上記4つの講習の 指導要領 等	4	108	4	97
合 計		1,315	21,240	1,253	20,928

## (2) 小・中学生及び高校生の受講状況

区 分	救命講習等の種別	平成26年度		平成27年度	
		実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
小学生	救命入門コース	9	181	17	226
中学生	救命入門コース	2	71	6	20
	普通救命講習	17	196	16	93
	上級救命講習	2	3	2	3
	小 計	21	270	24	116
高校生	救命入門コース	0	0	1	60
	普通救命講習	1	28	9	333
	小 計	1	28	10	393
合 計		31	479	51	735

## 12 AEDの設置状況について

平成28. 3. 31現在

区 分	設 置 数 (台)	市民に情報提供できるもの
		(台)
千 種	280	239
東	122	101
北	172	133
西	140	98
中 村	234	200
中	274	252
昭 和	205	180
瑞 穂	148	124
熱 田	110	93
中 川	160	106
港	217	170
南	142	105
守 山	158	114
緑	185	117
名 東	152	96
天 白	151	113
合 計	2,850	2,241

### 13 ヘリコプターの出動状況等について

#### (1) 出動回数

区 分		平成26年度	平成27年度
のぶなが	火 災	54	43
	救急・救助	16	22
	訓練等	156	144
ひでよし	火 災	43	43
	救急・救助	12	13
	訓練等	188	173
合 計		469	438

#### (2) 整備日数

区 分		平成26年度	平成27年度
のぶなが	定期検査	67	94
	特別調整	4	4
ひでよし	定期検査	72	75
	特別調整	12	43
合 計		155	216

